

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

公営企業会計		事務事業分類		基礎点検	
事務事業名 公共下水道の雨水対策事業		シート番号		D 建設・整備事業	
担当部署名 上下水道 局		下水道 部		下水道事業調整 課	
		評価責任者(課長名)		角	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	政策 1 暮らしの確かな安全・安心を確保します 施策 7 地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進	後期実施計画の位置付け	有	
	2	事業開始年度	昭和 27 年度	終了(予定)年度 — 年度	
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	下水道法		
	4	関連計画	堺市上下水道ビジョン、上下水道事業単年度実施計画		
	5	事業実施の経緯	市民の安心・安全な暮らしを確保するため、豪雨による浸水から市民を守ることは、下水道の役割の一つである。堺市は、時間約50mmの大雨に対応するための下水道施設を整備してきており、今後も危険度の高い地区を中心に、着実に対策を進めていく必要がある。		

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()	
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民をはじめとしたお客さま	
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	集中豪雨に対する安全度の向上、浸水情報の収集・提供を充実させることにより日頃から大雨に備える体制を築くことにより、雨に強いまちを実現。	
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・雨水整備事業・・・時間50mm対応の施設を優先的に整備すべき「重点地区(24地区)」への浸水対策事業を推進することとし、出島バイパス線、古川下水ポンプ場等の建設工事、雨水管布設実施設計業務等を実施。 ・総合的な治水対策・・・雨水貯留タンクの設置普及促進や、開発行為等の際に雨水流出抑制施設の設置指導を実施。	
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他()		
		日本下水道事業団		

Ⅲ. 投入量

項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	7,032,251	8,023,354	3,696,957	3,778,900	
主な事業費内訳	雨水管整備(雨水調整池含む)	千円	2,970,581	2,607,097	876,313	2,031,000
	雨水ポンプ場整備	千円	3,842,000	5,180,000	2,699,585	1,428,000
		千円				
		千円				
		千円				
財源内訳	国・府支出金	千円	3,163,817	3,457,234	1,678,535	1,173,100
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円	3,807,293	4,510,019	1,957,518	2,605,800
その他()	千円					
一般財源	千円	61,141	56,101	60,904	0	
12 人件費 (b)	千円	259,220	322,610	200,050	120,540	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	7,291,471	8,345,964	3,897,007	3,899,440	